

RF: 横断するポピュラーカルチャー (研究プロジェクト名「ポピュラーカルチャーと社会的コンフリクトの総合的研究」)

2010年度活動報告と最終年度の計画

研究代表: 富山一郎
GCOE全体報告会
2011/5/14

2010年度活動報告

1) 「横ポゼミ」(2010年度)

研究報告、論集の編集、セミナー等企画会議。

(担当者・ゼミ生)

第14回 2010/5/12(水)

吉澤弥生「日本のパブリックアートのかたち」

渡邊太「カフェコモンズというカフェ」

第15回 2010/5/26(水)

永岡崇「民衆を描く、教祖を描く」

鄭祐鎮「研究テーマから」

第16回 2010/6/9(水)

藤田智博「J・クリフォードを読む」

第17回 2010/6/23(水)

富山一郎「企画会議」



(会場は主に、文学研究科メディアラボを使用)



第18回 2010/7/7(水)

東園子「ブルセラ・援助交際ブームとは何だったのか(仮題)」

第19回 2010/8/23(月)

堀あきこ「BLはなにを欲望するのか」

第20回 2010/10/27(水)

古川岳志「都市空間の中の公営ギャンブル場」
久保田裕之「買わずに自分で作ることの文化社会学——ジェンダーの視点からみた日曜大工とDIY——」

第21回 2010/11/17(水)

太田健二「文化の「現場」〜クラブカルチャーにおけるVJを事例に」

第22回 2011/1/12(水)

ワークショップ等企画会議

第23回 2011/2/16(水)

論集編集会議

第24回 2011/3/28(水)

論集編集会議



公開ワークショップには、学内外から
毎年約100名程度が参加。

ワークショップ当日、参加者で会場を設える。



準備は横断するポピュラー・カルチャーのメンバー、
学生、院生、教職員で行なっている。

開催にあたり、文学研究科や学生センターなど、
様々な部署から協力・連携をいただいている。

2010年度活動報告

4) 公開参加型ワークショップ“Rhythm Science”

上野俊哉氏(和光大学)の講演とワークショップ。
2010/12/4(土)(会場・カフェ・コモンズ高槻市富田町)



←DJスタイルのToshiya the tribal
こと、上野俊哉氏。



2010年度活動報告

5)「大衆の主体化と文化の政治学」ポピュラーカルチャーと社会運動に関する国際研究ワークショップ

2011/2/24(木)~25(金)
(会場・韓国ソウル特別市「研究空間・スヌノモン」)



노마디스트 수유너머N 국제워크샵 <대중의 주체화와 문화정치학>

韓国で活動する独立の研究所「スヌノモン」にて、当該研究所に所属する研究者・社会運動家、および、「横断するポピュラーカルチャー研究プロジェクト」メンバー、文学研究科大学院生、NPO法人ニュースタート関係者による合同のワークショップを開催した。

(このイベントは、09/12/19に開催した、第39回「コンフリクトの人文科学」セミナー「共に考えることについて：研究機械の場所と運動」から継続する、国際研究拠点形成の一環である。)



共同で食事を作り、食べ、研究する。
「スユノモ」がめざす、研究空間のあり
方。食事を挟み、10時間近くにわた
る議論が続けられた。



最終年度の計画、成果の目標

- 論文集『ポピュラリティの文化／政治（仮題）』の出版
 - 当プロジェクト参加メンバーによる論文集。辻大介編。年度内に商業出版を目指す。
- 雑誌『文化／批評cultures/critiques』（増刊号：特集「横断するポピュラーカルチャー」）の作成・発行
 - 国際日本学研究会発行の研究誌で、これまでの活動を反映した特集増刊号を発行する。
- 第5回「横断するポピュラーカルチャー研究交流ワークショップ」開催
 - 本年度夏休み前に開催予定。若手研究者中心の公募型の研究会。
- 共有の空間をつくる実験～「ちっちゃい火」を囲む、開催
 - 夏休みから共同で準備を行い、秋に開催予定。
- 国際シンポジウム「研究空間と横断するポピュラーカルチャー（仮称）」の開催
 - 韓国のスユノモから、研究者を招き、本年2月に開催した国際研究会を継続して実施する。9月～12月に開催予定。
- 「セミナー企画」の実施
 - 「コンフリクトの人文学セミナー」として、共同で実施できる講演会の計画立案。現在、数人の講師と交渉中。
- 上記実現のための「横ポゼミ」の継続的開催
 - 月に1～2回のペースで実施。若手研究者の報告、論集のための集中的な研究会などとして実施予定。